

平成25年度富里市男女共同参画計画(第2次)進捗状況

基本方針(1)男女の人権が尊重される社会をつくる

施策番号	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	達成度	平成25年度進捗状況 (数値・改善点・方向性等)	関連区分	所管課
1	人権尊重についての広報・啓発	人権擁護委員活動事業において、人権啓発パンフレット等によりお互いの人権を尊重し、差別意識の解消やあらゆる暴力を根絶するため、広報・啓発を実施します。	広報・啓発活動	年3回以上・年1回以上	A	H25年5月15日号、H25年12月1日号、H26年2月1日号の広報にて人権擁護の啓発、人権相談及び人権教室についてのお知らせをしました。また、福祉まつりの会場で、人権啓発活動として人権啓発品の配布やぬり絵コーナーを実施しました。	新規	市民課
2	人権侵害に対する相談等の充実	法務局や他の機関等との連携を図るとともに、人権擁護委員による人権相談の充実を図ります。	人権相談の実施	年13回以上	A	人権・行政・心配ごと合同相談等を13回実施し、人権に関する相談は6件ありました。	新規	市民課
3	DVやセクハラ防止に関する啓発	DVやセクハラに関する正しい理解の促進と防止に向けた啓発を実施します。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	A	関係機関発行のチラシを窓口等で配布しました。	継続	企画課
4	デートDVの防止に関する啓発	デートDVに関する正しい理解の促進と防止に向けた啓発を実施します。			B	デートDVについての正しい理解の促進と防止に向けた啓発のため、チラシを発行し、成人式において配布を行いました。今後は成人式以外の場においても、デートDVの防止に関する啓発を実施していきます。	新規	企画課
5	デートDVの防止に関する教職員及び保護者への啓発	デートDVに関する正しい理解の促進と防止に向けて、教職員及び保護者への啓発を実施します。			B	年間1回、市内各小・中学校へのチラシの配付を行いました。	新規	学校教育課
6	女性への暴力等の防止に向けた啓発活動の推進	毎年11月の「女性に対する暴力をなくす運動」に併せ、ポスターの掲示やチラシの配布を行い、女性に対する暴力を許さない社会づくりに向けた市民意識の高揚を図ります。			A	「女性に対する暴力をなくす運動」期間に、ポスター掲示・チラシを区長回覧、主要窓口等で配布を行い、市広報紙にも掲載し、推進を図りました。	継続	企画課
7	地域の安全に向けた防犯対策への取組み強化	犯罪防止のための地域防犯パトロールを関係団体と連携・協力して実施します。また、市有防犯灯の設置や地区で設置する防犯灯の設置及び維持管理に係る経費を補助します。	青色回転灯車両による防犯パトロールの実施	週5回以上	A	市防犯指導員連合会4支部及び自主防犯団体1団体並びに市職員による青色回転灯車両での防犯パトロールを実施しました。また、区・自治会等の防犯灯の設置及び本体交換並びに電気使用に係る費用について補助を実施しました。	継続	市民活動推進課
8	DV相談窓口に関する情報提供	24時間電話相談などの相談窓口の情報提供を行います。	—	—	A	関係機関発行の相談カードを庁舎内女性用トイレ内等に設置し、また関係窓口の案内を記載したチラシを区長回覧で配布しました。	新規	企画課
9	DV及び児童虐待に関する相談体制の強化・充実	庁内関係各課及び関係機関と連携を図り、相談体制の強化・充実を図ります。	—	—	A	家庭児童相談室に家庭相談員(4名)を配置し、児童虐待の早期対応やDV防止など家庭児童福祉等に関する専門的な相談指導を行いました。相談日時・・・毎週月～金曜日(開庁時)午前9時～午後4時	継続	子育て支援課
					A	子育て支援課、社会福祉課、中央児童相談所、関係各校と連携をとり、相談体制の強化・充実を図りました。	継続	学校教育課
					C	庁内関係各課及び関係機関との連携策について、引き続き調査・研究を行っていきます。	継続	企画課
10	緊急保護等を求めるDV被害者の支援	関係機関と連携し、被害者及び児童や家族などに適切な支援を行うとともに、状況に応じて緊急避難の支援を実施します。	—	—	A	千葉県女性サポートセンター、印旛健康福祉センター、警察等の関係機関及び庁内関係課等との連携を図り、DV被害者の支援を実施しました。	新規	子育て支援課
					B	DV関連相談者の経済的な支援の相談を受けるとともに、子育て支援課等関連課と連携をしながら対応を実施しました。(生活保護相談件数延280件中DV相談10件)	新規	社会福祉課
					A	子育て支援課、社会福祉課、中央児童相談所、関係各校と連携をとり、適切な対応をとることができました。	新規	学校教育課
11	住民基本台帳事務における支援措置	DV・ストーカー・児童虐待等の加害者が住民基本台帳の閲覧等制度を不当に利用して被害者が緊急避難した先の住所を検索することを防止し、被害者の保護を図ります。	—	—	A	住民基本台帳事務における支援措置申出書を受け、72件(本市受付35件)支援措置を実施しました。	新規	市民課
12	DV被害者の自立支援の充実	行政機関の各種手続きに関する情報の提供や援助をします。	—	—	A	DV被害者の生活の安定と安全を確保しつつ、関係機関と連携を取りながら、情報の提供や援助を行いました。	新規	子育て支援課
					A	庁内関係各課、関係小・中学校と連絡を密にし、情報提供に漏れ落ちがないよう努めました。	新規	学校教育課

平成25年度富里市男女共同参画計画(第2次)進捗状況

基本方針(1)男女の人権が尊重される社会をつくる

施策番号	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	達成度	平成25年度進捗状況 (数値・改善点・方向性等)	関連区分	所管課
13	DV被害者に接する関係職員の研修機会の提供	DV被害者に接する関係職員に対して、被害者の人権等に十分配慮がなされるよう、研修機会の提供を行います。	関係職員の研修への参加	年1回以上	D	DV被害者に関する研修の開催状況を把握し、職員に対し更なる情報提供に努めます。	新規	総務課
					A	家庭相談員や市担当職員等、DV相談業務に従事する関係職員対象の研修に参加しました。(千葉県主催の研修年間延べ7名参加)	新規	子育て支援課
					A	市内教職員対象の生徒指導担当研修会等を通して、人権等に十分な配慮がなされるように研修機会の提供を行いました。	新規	学校教育課
					A	戸籍・住民基本台帳事務協議会において問題点を取上げ、協議を行い協議内容について職員間で共有しています。	新規	市民課
14	早期発見に向けた機関の連携	母子保健をはじめとする各種保健事業、要介護認定及び障害程度区分認定調査において、DV被害者等を早期に発見し、相談機関につなげていきます。	-	-	A	母子保健事業を通じた育児支援により、ネットワーク機能を活用・推進し、情報交換並びに関係機関との連携を図りました。	新規	健康推進課
					A	障害者虐待防止センターを設置(社会福祉協議会委託)し相談体制の充実に努め、ホームページ等により障害者虐待防止法の周知を図りました。	新規	社会福祉課
					B	高齢化が進むことに伴い、高齢者のみの世帯が増加する中、高齢者を見守り、高齢者世帯における認知・DV・虐待などの異変を早期に発見することも一つの目的としたシステムを構築するため「高齢者見守り協力事業者ネットワーク事業実施要綱」の整備を図りました。(運用開始 平成26年7月4日)	新規	高齢者福祉課
15	有害な違法看板などの広告物の排除の強化	違法看板などの広告物を警察と連携して定期的に除去することにより、地域環境の改善を推進し、性的犯罪を含めた防犯面での安全性の向上を図ります。	違法看板の除去作業	週2回以上	A	国県道及び市道の道路用地内を主な作業範囲として活動しました。除却作業は毎週火曜日(市担当6課による当番制)と4月から6月までは毎週土曜日、7月から翌年3月までは毎週金曜日(市シルバー人材センターによる委託)に実施しました。除却枚数 3,097枚	継続	都市整備課
16	有害情報から青少年を守るための啓発	携帯電話をはじめとしたインターネットの有害情報のフィルタリングの実効性を高めるため、保護者への啓発の充実を図るとともに、販売店に啓発チラシ配布の協力を求めます。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	A	年度末に小学校6年生児童・保護者を対象に携帯モラルについての講座を行いました。	新規	学校教育課
					A	インターネットに関する注意喚起のちらしを小・中・高校生に対し配布を行いました。県の出前講座を活用し、保護者を対象とした子ども達を取り巻くインターネットトラブルについて学ぶ機会を提供しました。今後、販売店に啓発チラシ配布の協力を求めていきます。	新規	産業経済課
17	メディア・リテラシーの学習機会の充実	携帯電話をはじめとしたインターネットの情報メディアを主体的に読み解いて必要な情報を引き出し、その真偽を見抜き、活用する能力(メディア・リテラシー)の向上を図るため、子どものうちからそうした能力を身に付けるための取り組みを充実します。	学習会等の開催	年1回以上	A	携帯モラル・情報モラルについての授業だけでなく、人権集会開催時にもメディアリテラシーの向上を図るための活動を行いました。	新規	学校教育課
					A	インターネットに関する注意喚起のチラシを小・中・高校生に対し配布を行いました。	新規	産業経済課
18	性の商品化防止のための啓発活動の推進	性を人権尊重の視点で捉えることができるよう啓発を実施します。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	A	「女性に対する暴力をなくす運動」期間に、ポスター掲示・チラシを区長回覧、主要窓口等で配布を行い、市広報紙にも掲載し、推進を図りました。	継続	企画課
19	性感染症等についての正しい知識、情報の提供	性を人権尊重の視点で捉えることができるよう、学校でのエイズ、子宮頸がんなどの性感染症予防教育や新成人などへの啓発を実施します。	学校教育での指導	全小・中学校で年1回以上	A	中学校は全学年、小学校は高学年を対象にエイズに関する指導を行いました。	継続	学校教育課
			新成人への啓発	年1回以上	D	成人式において、県発行のチラシ等を活用した啓発を行っています(平成25年度は実績なし)。その他啓発方法について、検討していきます。	継続	健康推進課
20	売買春、人身取引等の発生を防ぐための性教育の実施	性を人権尊重の視点で捉えることができるよう、発達の段階に応じた適切な性教育の充実を図ります。	-	-	A	学校において性に関するビデオを活用した指導を行い、生徒に感想を書かせ意識の定着を図りました。	継続	学校教育課

平成25年度富里市男女共同参画計画(第2次)進捗状況

基本方針(2)一人一人の個性を認め合う社会をつくる

施策番号	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	達成度	平成25年度進捗状況 (数値・改善点・方向性等)	関連区分	所管課
21	男女平等意識の啓発	男性にとっても生きやすい社会形成のため、「男は仕事、女は家庭」に象徴される固定的な性別役割分担意識や慣行が解消されるよう、市広報紙や情報誌などにより、男女共同参画の意義についての理解の促進を図る啓発を実施します。	固定的な性別役割分担意識の解消	平成28年度実施予定の意識調査で固定的な性別役割分担意識を減少	A	男女共同参画情報パンフレットや情報誌を発行し、窓口配布等を行いました。	継続	企画課
22	男女共同参画社会づくりに関する情報の提供	市広報紙や情報誌等により、男女共同参画社会づくりを推進するための情報提供を実施します。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	A	男女共同参画情報パンフレットや情報誌を発行し、窓口配布等を行いました。	継続	企画課
23	男女共同参画に関わる関連資料、図書等の充実	男女共同参画に関わる関連資料を情報コーナー等で配布します。また、図書館において、ジェンダー意識にとらわれない視点も考慮しながら、図書等の充実を図ります。	-	-	A	市で作成したパンフレット等と併せて県で作成した情報誌など関連資料を情報コーナーへ設置しました。	継続	企画課
					A	蔵書冊数181,033冊、うち男女共同参画に関する資料は行政資料を含め累計351冊あり、今後も最新の情報を考慮した資料整備に努めていきます。	継続	図書館
24	男女別の統計資料の充実	男女共同参画社会づくりを推進するため、男女別の統計資料の充実を図ります。	-	-	B	市統計書の男女別でデータを取っているものについては継続をし、引き続き男女別の統計資料をどのように充実させていくか検討していきます。	継続	企画課
25	男女共同参画の視点による表現ガイドラインの作成	市の刊行物などにおける表現(文章・写真・イラスト)において、男女共同参画の視点による表現に努めるよう、ガイドラインを作成し、職員への周知を実施します。	ガイドラインの作成	平成26年度まで	C	平成26年度中にガイドラインを作成し、職員への周知を実施します。	新規	企画課
26	男女共同参画の視点による広報活動	広報紙やホームページの作成に際しては、男女共同参画の視点に配慮し、より内容の充実を図ります。	-	-	A	広報紙に掲載する文章や言葉、写真・イラストにおいて、不必要な性別の協調や固定的なイメージ等、偏った表現にならないよう配慮しました。	新規	秘書広報課
					C	ホームページの作成は各課において行っていますが、承認の段階でのチェック方法について引き続き検討していきます。	新規	企画課
27	市職員の男女共同参画に関する意識の醸成	研修会や講演会等への参加を促し、市職員の男女共同参画に関する意識の醸成を図ります。	-	-	D	男女共同参画に関する研修の開催状況を把握し、職員に対し更なる情報提供に努めます。	新規	総務課
					B	男女共同参画講演会や県主催の研修等(関係課)の案内を行い、市職員の意識の醸成を図りました。	新規	企画課
28	男女共同参画に関連する講座、セミナー等の開催	男女共同参画社会づくりを推進するため、さまざまな視点からの男女共同参画に関する講座やセミナー等を開催します。	講座やセミナー等の開催	年1回以上	A	男女共同参画講演会を開催しました。平成26年3月1日(土)テーマ「みんなの笑顔が輝く!ハッピーバランス~育児も・仕事も・人生も笑って楽しむために!~」参加者78名	継続	企画課
29	国・県等が主催する講演会、研修会等の情報提供	情報コーナー等を活用して市民に情報提供します。	-	-	B	国・県等が主催する講演会、研修会等のチラシ、パンフレット等を関係各課窓口や情報コーナー等に置き、情報提供を行いました。	継続	企画課
30	講座を開催する際の一時保育サービスの実施と利用の促進	子育て世代の親が講座等に参加しやすくするため、ボランティアセンター等の協力を得た保育サービスの提供の推進について関係各課へ周知を図ります。また、保育所での一時保育制度の周知を行います。	-	-	C	関係各課等への周知方法等について、引き続き検討していきます。	継続	企画課
					A	家庭において保育を受けることが一時的・緊急的に困難になった場合に、短期的に子供を預かる一時保育を、市内認可保育所で実施しました。一時保育年間利用者 延べ2,171名	継続	子育て支援課
31	家庭において男女平等教育を進めるための啓発活動の推進	ジェンダーにとらわれず、男女が共に参画して社会づくりを進める意識を広く浸透させるための情報や学習機会の提供を行います。また、男性の子育てや家庭教育への参画を促進します。	-	-	A	男女共同参画講演会を開催し、男性の子育てへの参画を促進するための機会の提供を行いました。	継続	企画課
			男女共同参画に関する家庭教育学級の開催	年1回以上	A	市内14の公立幼稚園、小・中学校に家庭教育学級を開設し、各学級5~7講座実施した。延べ1,545名参加。今後も多くの学級生に学習機会の提供を行います。	継続	生涯学習課

平成25年度富里市男女共同参画計画(第2次)進捗状況

基本方針(2)一人一人の個性を認め合う社会をつくる

施策番号	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	達成度	平成25年度進捗状況 (数値・改善点・方向性等)	関連区分	所管課
32	人権教育、性教育の充実	学校教育において、人権や性教育の充実を図ります。	学校教育での指導	全小・中学校で年1回以上	B	学校での人権週間における取組に合わせて、人権擁護委員による人権教室を市内中学校1校、小学校3校で開催した。性教育については、人権教育に合わせて、小学校4年で体育科保健分野で第2次性徴、小学校5年の体育館保健分野で体の成長に合わせて、心の変化について学習しました。	継続	学校教育課
33	就学前における男女平等意識の向上	保育園、幼稚園において、ジェンダーにとらわれない視点に配慮した保育や教育を推進します。	—	—	A	男女別に活動したり、男女という性を強調せず、個人を大切にしたい保育を行っています。	新規	子育て支援課
					B	年間3回、市立幼稚園長と教育長、学校教育課長、担当指導主事で園長会議を開催し、男女平等意識の向上に向けた教育について推進を行っています。	新規	学校教育課
34	学校教育における男女平等教育の推進	男女共同参画意識の形成やジェンダーにとらわれない自立した男女を育成するため、広く男女平等の視点に立った教育を推進します。	—	—	A	人権週間における取組のほか、日常の友達との関わり方など広く男女平等の視点に立った教育を児童・生徒の発達段階に応じて行いました。	新規	学校教育課
35	性別にとらわれないキャリア教育の推進	職業体験学習等の体験的な活動における指導を通して、ジェンダーにとらわれない職業観や労働観の育成や仕事と生活の調和の重要性を養うキャリア教育を推進します。	職業体験学習等の実施	全小・中学校で年1回以上	A	キャリア教育担当者会議において、職業体験学習の実施方法についてのみの説明ではなく、体験的な活動を通して、ジェンダーにとらわれない職業観や労働観の育成や仕事と生活の調和の重要性を養うキャリア教育の推進について指導を行いました。	継続	学校教育課
36	男女混合名簿の使用への対応	市内の公立小・中学校における男女混合名簿の使用対応を図っていきます。	—	—	A	学校の対応により、名簿の形式は異なるが、男女混合名簿の使用については、特に問題なく用途に応じて使い分けをしています。	継続	学校教育課
37	教育関係者の男女共同参画に関する理解の推進	子どもたちの意識形成や行動に大きな影響を与える教職員に対し、男女共同参画に関する理解を深めるための研修機会の充実を図ります。	研修会等の実施	年1回以上	B	男女共同参画に関する資料・情報提供を行いました。	継続	学校教育課

平成25年度富里市男女共同参画計画(第2次)進捗状況調査票

基本方針(3)あらゆる場面で共同参画できる社会をつくる

施策番号	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	達成度	平成25年度進捗状況 (数値・改善点・方向性等)	関連区分	所管課
38	審議会、委員会等への女性の参画の推進	女性の意見を政策・方針決定の場に反映させるため、関係各課へ周知を図り、審議会等への女性の参画を推進します。また、子育て世代の親が審議会等に参画しやすくするため、ボランティアセンター等の協力を得た一時保育サービスの提供の推進について関係各課へ周知を図ります	審議会等の女性委員登用率	30%	B	設置している審議会等の委員507名のうち、女性委員112名、22.1%という結果をもとに、今後も各課へ周知を図り、女性の参画を推進していきます。	継続	企画課
39	審議会等への公募委員の推進	「審議会等の公募に関する規則」や「審議会等の設置及び運営等に関する指針」の適正な運用により、幅広い年齢層から市民参加を得られるように公募による委員の選任を推進します。	—	—	B	審議会等の数49のうち、公募委員が含まれる審議会数は21であり、今後も公募による委員の選任を推進していきます。	継続	企画課
40	広聴活動の充実	あらゆる場面で共同参画しやすい社会をつくるため、市民の意見等を聴く機会の充実を図ります。	—	—	A	「市長への手紙」、「市政へのご意見(電子メール)」、「まちづくりふれあいミーティング」での意見集約等により男女の隔てなく広く市民の意見を伺いました。	継続	秘書広報課
41	女性の視点を取り入れた施設改善の推進	ユニバーサルデザインの理念に基づき、妊婦、子ども連れ、子ども、障がい者、高齢者、外国人が生活しやすい、女性の視点を取り入れた施設の改善に努めます。	—	—	B	庁舎バリアフリー化改修工事として、本庁舎エレベーター設置・身体障害者用駐車場設置・南棟分庁舎間通路改修工事の方針を出し、バリアフリー化の推進を行いました。	継続	財政課
					A	施設の通路は通りやすい空間を大切に、季節感が味わえるようにしています。	継続	子育て支援課
					D	所管する福祉センターにおいては、施設の老朽化が進んでいることから、施設の機能強化を目指した改修計画の策定を検討中であり、これに合わせてユニバーサルデザインの視点を持って、今後取り組んでいきます。	継続	高齢者福祉課
					B	北部コミュニティセンターでは、障がい者や高齢者など体が不自由な方のためにエレベーターが設置されており、誰もが利用できるふれあいルームにはベビーベッドを設置しています。平成25年度には新たに男子トイレに手摺を設置しました。利用者から具体的に要望があれば、北部コミュニティセンター及び中部ふれあいセンター管理運営委員会と協議する体制を設けています。	継続	市民活動推進課
					B	ふるさと自然公園のA地区の外周路からのスロープを設置したことにより、階段を使用せずグラウンドに降りることができるようになりました。ふるさと自然公園の園内を段階的に改善する方向で検討してまいります。	継続	建設課
					C	開発に伴い設置される新規公園については、開発業者に対しバリアフリー化するよう指導しました(1公園)。また、未整備公園については今後計画的に整備していくことを検討します。	継続	都市整備課
					A	障がい児童等への対応として、スロープや多機能トイレを設置しました。 【スロープ設置】 富里小学校、七栄小学校 【多機能トイレ設置】 七栄小学校	継続	教育総務課
					A	公民館におけるエレベーター、自動ドア、玄関前スロープ、講堂棟・公民館棟各1ヶ所の障害者用トイレ等を整備しています。館内利用時車椅子1台を配置。その他女性の視点を取り入れた施設改善に努めます。	継続	生涯学習課
A	現時点での施設の改善はありませんが、今後改善箇所が発生した場合は、改善に努めます。	継続	図書館					
42	各種団体等における女性リーダーの拡充の働きかけ	関係各課を通じて、自治会や各種団体等における女性リーダーの拡充を働きかけます。	—	—	C	関係各課を通じて、引き続き女性リーダーの拡充の働きかけについて検討していきます。	継続	企画課
43	企業運営等における女性の参画促進のための働きかけ	企業運営等における女性の参画を促進するため、国や県等の制度やセミナー等の情報提供を通じて働きかけます。	—	—	A	国や県等の制度や企業支援講演会等の情報提供を行いました。	継続	産業経済課
44	市職員の研修機会の充実	政策立案や各種施策等の能力を養成するため、各種研修への女性職員の参加を推進します。	各種政策立案等研修への女性職員の参加	年5人以上	A	市町村アカデミーや千葉県自治研修センターへ、女性職員の研修派遣を行い、政策立案等の能力養成に努めました。平成25年度 市町村アカデミー 3名派遣 千葉県自治研修センター 12名派遣	新規	総務課

平成25年度富里市男女共同参画計画(第2次)進捗状況調査票

基本方針(3)あらゆる場面で共同参画できる社会をつくる

施策番号	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	達成度	平成25年度進捗状況 (数値・改善点・方向性等)	関連区分	所管課
45	市管理職への女性登用の推進	性別にかかわらず、適切な人事管理を行う中で、女性管理職の登用を推進します。	—	—	A	適切な人事管理のもと、積極的な女性管理職の登用に努めました。	新規	総務課
46	市民活動サポートセンターの創設	様々な分野の地域の課題を解決していくため、市民活動を行う団体を支援したり、協働によるまちづくりの拠点としての機能を果たす、市民活動サポートセンターを創設します。	市民活動サポートセンターの創設	平成27年度まで	D	千葉県との共催により研修会「地域を支えるサポートセンターとは？」を実施しました。 平成24年度に市民活動サポートセンター検討委員会から提出された「富里市市民活動サポートセンターの機能等に関する提言書」では、ベビーベッドやキッズルームが設置されることが望ましいとの提言がなされており、子ども連れの利用者をはじめ、誰もが利用しやすい施設となるよう検討していきます。	新規	市民活動推進課
47	地域活動における男女共同参画の促進	地域づくりを担う人材を育成するため、協働のまちづくりを推進し、老若男女を問わず地域活動に参画できるような環境整備に努めます。	—	—	A	協働のまちづくり講座を世代別(子ども、働き盛り、シニア)に実施し、世代ごとに効果的な手法で実施しました。 まちづくりについてテーマを設定し、そのテーマに対して自由に意見交換ができる場として、とみさと協働塾を実施しました。	新規	市民活動推進課
48	防災分野における男女共同参画の推進	女性の視点から見た防災対策を推進するため、防災会議に女性委員を登用します。 また、女性の視点に立った防災対策の推進を図ります。	防災会議への女性委員の登用	3人以上	A	平成26年3月31日現在、防災会議委員32名中5名が女性委員となっています。	新規	市民活動推進課
49	地域における防災訓練及び自主防災組織設立の支援	小学校区などを1つの単位とした自主防災組織の発足を促進・支援します。また、女性の視点を反映できる組織づくりを促進します。	小学校区単位での自主防災組織の発足	平成29年度までに全8小学校区で発足	B	平成26年3月31日現在、富里市内の小学校区を単位とした自主防災組織数は3団体あり、平成25年度の補助実績としては、日吉台小学校区自主防災連合会へ、防災訓練に対する活動補助及び防災資機材の購入に対する資機材補助を実施しました。	新規	市民活動推進課

平成25年度富里市男女共同参画計画(第2次)進捗状況

基本方針(4)だれもが働きやすい社会をつくる

施策番号	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	達成度	平成25年度進捗状況 (数値・改善点・方向性等)	関連区分	所管課
50	労働基準法の周知・徹底	法制度のパンフレット等により周知を図ります。	—	—	A	法制度のパンフレット等を配架し、周知を図りました。	継続	産業経済課
51	男女雇用機会均等法の周知・徹底	法制度のパンフレット等により周知を図ります。	—	—	A	法制度についてホームページにて、周知を図りました。	継続	産業経済課
52	職業技術等を取得するための講座等の情報提供	各種講習会や講座等の情報提供を実施します。	—	—	A	各種講習会や講座等の情報提供を実施しました。	継続	産業経済課
53	起業家を支援するための融資制度等の情報提供	各種融資制度等の情報提供を実施します。	—	—	A	市融資制度をはじめ、県融資制度、県信用保証協会制度の案内を配架したほか、市広報・ホームページで市融資制度を掲載し、情報提供を行いました。	継続	産業経済課
54	女性の就労への理解に向けた啓発活動の推進	育児休暇や介護休暇後の職場復帰の際の正しい理解について、法制度等の啓発と併せて企業へ働きかけます。	—	—	A	法制度のパンフレット等を配架し、法制度等の周知を図りました。	継続	産業経済課
55	再就職支援の情報提供	再就職支援に関する情報を提供します。	—	—	A	再就職支援セミナーのチラシやポスターを掲示し、情報提供を行いました。また、中高年及び子育て中のお母さんを対象にした再就職支援セミナーを開催しました。	新規	産業経済課
56	障がい者の生活・就労に関する支援	関係する行政機関や民間機関と連携を図り、障がい者が自立し充実した生活を営めるよう、生活・就労の相談体制や情報提供の充実を図ります。	—	—	A	地域自立支援協議会(就労支援研究部会)において、各関係機関における情報交換等により支援体制の充実を図りました。	新規	社会福祉課
57	困難な状況におかれた若年層の就業支援	関係する行政機関や民間機関と連携を図り、フリーターやニートの就業支援プログラムの情報を提供します。	—	—	A	民間機関と連携を図り、就業支援相談会を実施したほか、若年者就労に関する事業やセミナー等の情報を提供しました。	新規	産業経済課
58	労働者の健康確保の促進	長時間労働や妊娠・出産後の女性労働者の母性保護を含めた、労働安全衛生法の啓発に努めます。	—	—	A	全国労働安全衛生週間などを周知し、労働安全衛生法の啓発を行いました。	新規	産業経済課
59	セクシュアル・ハラスメント防止のための啓発活動の推進	チラシやパンフレット等により啓発活動を実施します。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	A	チラシ等により啓発活動を実施しました。	継続	産業経済課
60	職場における慣行を見直すための啓発活動の推進	女性の力を活かしていくためのポジティブアクションに関する情報提供など、職場の慣行を見直すための啓発活動を推進します。			A	女性の力を活かしていくためのポジティブアクションに関する情報をHPで提供し、職場の慣行を見直すための啓発活動を推進します。	継続	産業経済課
61	農業、商工業に従事する女性の労働環境改善のための啓発活動の推進	商工会や農業協同組合などの関係機関と連携して、農業、商工業に従事する女性の労働環境改善のための啓発活動を推進します。	チラシ等による啓発の実施	年1回以上	A	労働環境改善のためのパンフレットは配架しました。	継続	産業経済課
62	法人化など農業経営に関する情報提供	関係機関が実施する講演会等の案内や各種パンフレットにより情報提供を実施します。			A	各種パンフレット等により情報提供を実施しました。	継続	産業経済課
63	ワーク・ライフ・バランス意識の普及・啓発の推進	関係機関と連携して、ワーク・ライフ・バランス意識の普及・啓発活動を実施し、企業等における育児休業や介護休業取得を促進します。	—	—	A	ワーク・ライフ・バランスのセミナー等の情報提供を行い、ワーク・ライフ・バランス意識の普及・啓発を行いました。	新規	産業経済課
					C	講演会や情報誌発行などを通じて、ワーク・ライフ・バランス意識の普及・啓発活動に努めました。引き続き関係機関との連携等について検討していきます。	新規	企画課
64	育児・介護休業法の周知・徹底	法制度のパンフレット等により周知を図ります。	—	—	A	法制度のパンフレット等を配架し、周知を図りました。	継続	産業経済課

平成25年度富里市男女共同参画計画(第2次)進捗状況

基本方針(4)だれもが働きやすい社会をつくる

施策番号	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	達成度	平成25年度進捗状況 (数値・改善点・方向性等)	関連区分	所管課
65	男女とも参加できる家事・育児・介護講座等の開催	ジェンダーにとらわれず、男女が共に助け合い、男性も家事・育児・介護などの家庭責任を果たすことができるよう、男性の料理教室等の講座を開催します。また、プレパパ・ママ教室、学校行事、家庭教育学級などの親子のふれあい事業では、男性が参加しやすい設定や周知に努め、男性の育児や子育てへの参画を促進します。	—	—	B	父親の教室への参加は年々増加傾向にある。今後も、赤ちゃんのいる生活を具体的にイメージし、父親になるという自覚を持って産後の子育てを両親で協力して行うきっかけ作りの場について検討していきます。また、男性のための料理教室に若い世代の男性も参加してもらえるよう、内容等について検討していきます。	継続	健康推進課
			介護予防出前講座の実施	年10回以上	A	男女を問わず、地域における相互扶助、コミュニティの形成に係る意識の醸成を図るため、地域からの要請に基づき、介護予防出前講座を実施しました。(開催回数 16回)	継続	高齢者福祉課
			—	—	A	親子クッキングを開催しました。「ママフレ」はママ限定のイメージがあるため、広い範囲のイメージがもてるように検討が必要。	継続	子育て支援課
			—	—	A	授業参観や親子で参加する行事(土曜日に実施する授業参観や親子レク、運動会での親子競技など)において、男性も参加しやすい環境づくりに努めました。	継続	学校教育課
			家庭教育学級へ男性参加の啓発	年3回以上	B	市内公立幼稚園、6小学校家庭教育学級で、親子体操をはじめとする親子のふれあいの場を設け、延べ245名が参加しました。今後も多くの学級で、親子のふれあいの場がもてる講座を開設します。	継続	生涯学習課
66	市職員への育児・介護休業制度の周知、ワーク・ライフ・バランス意識の普及・啓発の促進	男性職員の育児や介護を促進するため、育児休業や介護休業取得の促進と、ワーク・ライフ・バランス意識の普及・啓発を推進します。	意識啓発	年1回以上	A	部課長会議にて、育児休業や介護休暇等の周知に努めました。	新規	総務課

平成25年度富里市男女共同参画計画(第2次)進捗状況

基本方針(5)だれもが安心して暮らせる社会をつくる

施策番号	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	達成度	平成25年度進捗状況 (数値・改善点・方向性等)	関連区分	所管課
67	多様な保育サービスの充実	仕事と子育ての両立を支援し、安心して働くことができるよう、多様な保育サービスの充実を図るとともに、保育所との連携を図り、待機児童の解消に努めます。	保育所待機児童の解消	平成29年度 0人	C	各保育園において、定員を超える弾力的な受け入れを実施しましたが、待機児童の抜本的な解消には至らなかったため、解消に向けて今後検討を重ねてまいります。	継続	子育て支援課
			—	—	A	富里幼稚園で預かり保育を実施し、1日平均約10名の利用がありました。向台幼稚園で預かり保育を実施し、1日平均約7名の利用がありました。浩養幼稚園で預かり保育を実施し、1日平均約1名の利用がありました。	継続	学校教育課
68	ファミリーサポートセンターの充実	地域で支援する子育て体制として、平成24年度に開設したファミリーサポートセンターの充実を図り、地域による相互扶助により多様な保育サービスの提供の充実を図ります。	ファミリーサポートセンター会員数	100人以上	A	今後も多様な保育サービス提供の充実に努めていきます。 会員数139名 年間利用者 延べ292名	新規	子育て支援課
69	病児・病後児保育の検討	多様化する保育ニーズに対応するため、医療機関への協議・協力を求め病児・病後児保育について設置の検討を進めます。	—	—	A	平成26年度設置・開業を目指し、医療法人との協議を進めました。	新規	子育て支援課
70	放課後児童クラブの充実	日中、保護者が就労により家庭にいない児童に対し、放課後児童の健全育成を図るため、放課後児童クラブの充実に努めるとともに、新たな放課後児童クラブの設置に努めます。	公設放課後児童クラブの設置	平成29年度までに6か所	A	平成26年4月に富里第一学童クラブ、浩養すいかキッズクラブを開所しました。 設置数5か所	継続	子育て支援課
71	子育てに関する相談、指導及び情報提供の充実	子育て支援センターの充実を図り、子育て家庭に対して、相談・情報提供、子育ての仲間づくり及び関係機関との連絡調整など、総合的に子育てを支援します。	—	—	A	子育て家庭に対して、相談・情報提供や子育ての仲間づくり、関係機関との連絡・調整など、総合的に子育てを支援しました。	継続	子育て支援課
		保健センターの充実を図り、各種健診や各種教室を開催して子どもの健康や育児などの子育てを支援します。	—	—	A	各健診とも、90～95%の受診率を推移しています。今後も訪問等により未受診者の把握に努めます。 集団健診や事後教室等の場で、子どもの健康面や、発達面について把握し、関係機関との連携を図っていきます。	継続	健康推進課
		各幼稚園・小中学校の入園・入学児童の保護者を対象に子育て学習会を実施します。	子育て学習会の開催	全幼稚園・小・中学校で年1回以上	A	市内公立幼稚園3園、小・中学校11校で子育て学習会を開催した。延べ965名が参加しました。	継続	生涯学習課
72	地域で支援する子育て体制の整備	教育・福祉関係者、ボランティア、自治会、市民活動団体等、地域の連携・協力により、子どもの成長を見守り支援する取り組みを推進します。	—	—	B	社会福祉協議会のボランティアセンターをはじめ、関係機関と連携を図りました。	継続	子育て支援課
					B	学校におけるPTA活動の中で、見守り支援する取り組みを行っています。	継続	学校教育課
73	子育てに関する経済的支援の推進	貧困等の家庭環境により進学機会や学力・学習意欲に影響が及ばないよう、児童手当、子ども医療助成、幼稚園就園奨励費補助など、子育てに関する経済的支援や奨学金制度の情報提供を実施します。	—	—	A	中学校卒業まで(15歳到達後、最初の3月31日まで)の児童を養育している方へ、児童手当法に基づき児童手当を支給しました。 0歳～中学3年生までの子どもに対し、保険が適用される医療費について、一部負担金のうち一部または全部を助成しました。	継続	子育て支援課
					A	幼稚園就園奨励費補助制度により、私立幼稚園に対し補助金を交付しました。(幼稚園数16園)また、公立幼稚園児の保護者に対し保育料の一部を減免しました。	継続	学校教育課
74	小児救急医療体制の整備	医師会の協力を得て、夜間や休日の小児救急医療体制の維持に努めるとともに、情報提供を実施します。	—	—	A	引き続き、地域関係機関、団体との連携のもとに、休日・夜間医療体制の確保とともに、第二次医療圏に小児専門の救急医療体制の維持に努めます。	継続	健康推進課

平成25年度富里市男女共同参画計画(第2次)進捗状況

基本方針(5)だれもが安心して暮らせる社会をつくる

施策番号	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	達成度	平成25年度進捗状況 (数値・改善点・方向性等)	関連区分	所管課
75	両親学級・母親学級の充実や親子のふれあい事業の推進	育児がより具体的にイメージできるような支援としての教室や、親子のふれあいを通じて積極的に育児に取り組めるよう支援するとともに、家庭教育学級の充実を図ります。	-	-	A	「プレパパママ教室」を開催し、妊娠中から体験学習や、先輩パパやママに実体験を話してもらう機会を設け、父親の育児参加のきっかけを作りました。また、母親学級でも体験学習の時には父親への参加を呼びかけました。	継続	健康推進課
					A	身体測定等を実施し、子どもの身体の成長や年齢に応じた行動等について、親と共に成長の喜びを味わったり相談に応じるなどの支援に努めました。	継続	子育て支援課
					A	市内の公立幼稚園、小・中学校で14の家庭教育学級を開設しました。学級生は1,523名が在籍しました。	継続	生涯学習課
					A	毎月、保健センターで行われる4か月児健診時にブックスタート事業を実施し、読み聞かせを通じた親子の触れ合いやサポート事業の周知に努めました。実施回数 12回、実施人数 350名	継続	図書館
76	育児相談、栄養指導など母子保健の充実	乳幼児の健やかな発育・発達のサポート及び育児不安の解消を図るための相談・指導の充実に努めます。	育児相談	月1回以上	A	計16回実112人延べ230人 乳幼児を持つ親は、些細なことでも不安になったり、悩んだりするため、利用しやすい相談事業の充実を図る必要があります。市及び関係機関で実施している相談事業のPRについて検討していきます。	継続	健康推進課
77	各種検診事業の充実	健康維持と病気予防のため検診に対する理解を深め、年代や性差などに応じた受診しやすい体制の整備に努めます。	-	-	A	特定健康診査と合わせて胃がん検診や前立腺がん検診を同時に受診できるようにしています。大腸がん検診は、市内の委託医療機関で、また、子宮頸がん・乳がん検診は、予約システムによる集団方式で実施しています。	継続	健康推進課
78	健康教室などの開催による健康づくりの推進	年代や性差などに応じた健康教室や健康を推進する事業を実施します。また、食に関する知識や食を選択する能力を育成するため、男性の料理教室への参加促進に努めます。	健康教室の開催	年2コース以上	B	2回延14人 地区保健推進員協議会主催により実施。参加者は60歳代から70歳代が中心となっています。今後、市民への効果的なPR及び実施内容について検討していきます。	継続	健康推進課
79	子どもへの食育の推進	子どもの頃から食に関する正しい知識を習得し、食を選択する能力の向上を図る等、生涯を通じて心身ともに元気で豊かに暮らすために、食育の推進を図ります。	-	-	A	給食センター栄養士による食に関する授業や給食指導を市内全小・中学校で実施し、食育教育を推進しました。	新規	学校教育課
					A	25年度より、幼児の健診において、う歯を保有していた子どもについて、新たに個別栄養相談を実施しました。ブラッシング指導と合わせて、おやつやジュース等の与え方や、時間(頻度)などについて、今後も保健指導の充実に努めていきます。	新規	健康推進課
					A	各種イベント等で富里産農畜産物をPRして食育の推進を図りました。	新規	産業経済課
80	心身の健康相談の充実	年代や性差などに応じた健康相談や、専門の医師によるこころの相談を実施するとともに、自殺対策に関する啓発を実施します。	-	-	A	定例の健康相談を7回実施。利用者数12組延33人。その他健診結果説明会(個別相談)を8回実施。利用者数実38人。その他特定健診当日に保健師・栄養士による個別相談を実施しました。定例の健康相談については、今後も市民が利用しやすいようにPRしていきます。	継続	健康推進課
			こころの相談	年6回以上	B	精神科専門医による個別相談を年6回開催しました。	継続	社会福祉課
81	妊娠、出産等に関わる学習機会の充実	妊娠、出産、育児についての知識を学び、不安の解消を図るため、母親学級及び両親学級(プレ・パパママ教室)を実施します。	-	-	A	教室のグループワーク等で、母親の仲間作りにより、子育ての情報交換をする機会となっています。子育て支援センター等の地域資源を活用してもらうために、今後も情報提供や関係機関との連携や情報共有を図っていきます。	継続	健康推進課
82	各種スポーツ教室等の充実	スポーツを通じて心と体の健康づくり、親子でのふれあいを促進するため、スポーツ健康フェスタの開催及び体育協会と連携して各種スポーツ教室や大会の開催を推進します。	スポーツ健康フェスタの開催	年1回以上	B	体育の日にスポーツ健康フェスタを開催し、260名の参加者があった。普段スポーツをしていない人への参加の推進を進めていきます。市体育協会の21専門部により、市民等を対象とした各種大会が47回、スポーツ教室として7教室を開催しました。	継続	生涯学習課

平成25年度富里市男女共同参画計画(第2次)進捗状況

基本方針(5)だれもが安心して暮らせる社会をつくる

施策番号	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	達成度	平成25年度進捗状況 (数値・改善点・方向性等)	関連区分	所管課
83	高齢者の社会参加の促進	高齢者が身近な地域で安心して働ける多様な就業機会を提供するシルバー人材センターを支援します。また、高齢者が孤立せず、仲間づくりや地域との交流が図れる場として、シルバークラブ活動への支援及び小学校区を単位とした地域主導による敬老会の開催について支援します。	—	—	A	高齢者の雇用機会を増進し、「自主・自立」を図るシルバー人材センターの運営を支援するため、富里市シルバー人材センター事業費補助金9,930,000円を支給しました。	継続	産業経済課
			小学校区を単位とした地域主導による敬老会の開催	全8小学校区での開催	A	老若男女を問わず、高齢者を敬愛し、長寿を祝うため、平成25年度から「高齢者地域コミュニティ形成事業」を立ち上げ、地域に密着した敬老事業を地区社会福祉協議会、地域ボランティアとの協働により実施しました。 (敬老会事業 8地区 その他、地区の実情により、地域性を活かした高齢者と児童・生徒との交流事業なども実施)	継続	高齢者福祉課
84	高齢者の在宅保健福祉サービスの充実	訪問歯科診療など、在宅保健福祉サービスの充実を図ります。	—	—	A	在宅訪問歯科診療 実4名延8名 誤嚥(ごえん)の予防等、口腔機能の維持・向上に向けた歯科保健の相談や指導の拡充・啓発に努めていきます。	継続	健康推進課
					A	(移送サービス事業) 在宅の要介護・要支援状態にある高齢者等で、自力では公共交通機関の利用が困難な方に対し、外出支援サービスを行いました。 ※登録人数33名 年間延べ利用回数664回	継続	高齢者福祉課
85	ひとり暮らし高齢者等に対する地域での見守り支援の推進	多様な地域団体や市民による地域コミュニティが主体となり、共に支え合う地域福祉ネットワークの構築に努めます。	—	—	A	成田警察署と管内2市1町及びコンビニ、銀行、ガソリンスタンド等の加盟店で組織する「SOSネットワーク事業」を実施し、徘徊してしまう高齢者等の早期発見、保護に努めました。(加盟店 196店 発生件数 37件) また、在宅で生活する高齢者を見守り、高齢者世帯における認知・DV・虐待などの異変を早期に発見することも一つの目的とした「高齢者見守り協力事業者ネットワーク事業」の実施要綱を整備しました。 (運用開始 平成26年7月4日)	新規	高齢者福祉課
86	ひとり暮らし高齢者の実態把握・支援	訪問調査等により、ひとり暮らし高齢者の生活実態の把握に努め、給食配食サービス事業、生きがいデイサービス事業、緊急通報装置設置事業など、それぞれの状況に応じて必要となる各種サービスに適切に結びつけていきます。	給食配食サービス事業の実施	週3日以上	A	一人暮らしの高齢者等で、食事の調理が困難な方に対し、週3回昼食(弁当)を届けて安否確認を行うサービスを実施しました。 ※登録者数7名 延べ利用食数782食	継続	高齢者福祉課
87	高齢者の健康づくりの推進	健康教育や地域団体と連携・協力して健康ウォーキング事業等の実施及び介護予防教室等を実施し、高齢者の健康づくりを推進します。	健康ウォーキング事業等の実施	年1回以上	A	第4回にんじんウォーク参加者235人 今後も、誰もが手軽に取り組みめるウォーキングの普及により、運動機能や筋力低下によるロコモティブシンドロームの予防に努めていきます。	継続	健康推進課
			介護予防教室の開催	年72回以上	A	(筋力アップトレーニング施設開放事業) 高齢者の介護予防への主体的な取組を促すため、施設の開放とマシンの提供を行いました。 ※回数 72回 述べ参加者 1,073人	継続	高齢者福祉課
88	高齢者の相談体制の充実	高齢者が地域で安心して暮らし続けられるよう、在宅介護支援センターなどの関係機関等と連携・協力して相談体制の充実を図ります。	—	—	A	高齢者が地域で安心して暮らし続けられるよう、在宅介護支援センターなどの関係機関等と連携・協力して、市民からの相談に対応し、必要なサービスに結びつけました。※ 相談受付件数 2,495件	継続	高齢者福祉課
89	高齢者が自立した日常生活を支援するための学習機会の提供	高齢者が自立して生活するためのスキルを習得できるよう、創年セミナーの講座内容の充実や、男性高齢者への料理教室の参加促進に努めます。	創年セミナーの開催	年16回以上	A	市内在住の20歳以上の方を対象に、歴史、経済、健康福祉の学習及び、芸術・文化・スポーツの体験学習を実施しました。	新規	生涯学習課
			男性向けの料理教室の開催	年2回以上	A	地区保健推進員主催による男性のための料理教室(年2回参加者延14人)及び健康増進プロジェクト事業「地域で繋ぐ健康づくり教室」を壮年セミナー(受講者25人)に対して実施しました。	新規	健康推進課

平成25年度富里市男女共同参画計画(第2次)進捗状況

基本方針(5)だれもが安心して暮らせる社会をつくる

施策番号	施策名	施策内容	事業項目	数値目標	達成度	平成25年度進捗状況 (数値・改善点・方向性等)	関連区分	所管課
90	障がい者(障がい児)福祉の充実	相談体制の充実を図り、関係機関等との連携により、障がい者(障がい児)及びその家族に対する適切な支援につなげていきます。	—	—	A	地域自立支援協議会(主に生活支援研究部会)において、各関係機関における情報交換等により支援体制の充実を図りました。障害者相談を年6回開催しました。マザーズホーム通所障害児童と母親に相談及び指導を実施しました。	継続	社会福祉課
91	ひとり親家庭への経済的支援と自立促進	所得に応じて児童扶養手当や医療費等助成の経済的支援を行うとともに、自立を促進するため、母子家庭自立支援給付金事業や公共職業安定所(ハローワーク)と連携した就労支援を実施します。	—	—	A	児童扶養手当法に基づき児童扶養手当を支給しました。ひとり親家庭の親及びその児童等に対し、医療費及び調剤費、証明手数料の一部について助成金を支給しました。	継続	子育て支援課
92	国際理解教育の推進	学校教育において国際理解に関する意識の向上を推進します。	—	—	A	「英会話の日」を年3回実施し、日頃の英語活動の成果を試す機会を設けました。	継続	学校教育課
93	国際交流事業の推進	市民と外国人が交流できる機会や場を提供している各種団体と連携・協力し、地域に根ざした国際交流の推進に努め、これを通じて男女共同参画に関する国際的な視点を養っていきます。	—	—	A	富里国際交流協会への財政的支援の他、各種事業への協力や行政との連携を図ることにより、国際交流の推進に努めました。	継続	企画課
					A	成田国際空港振興協会による国際交流会を小学校3校で開催しました。	継続	学校教育課
94	外国人相談業務・行政サービスの充実	外国人が地域で安心して暮らしていけるよう、日常生活に関する相談業務や多言語化したホームページや生活ガイドブックなどにより情報提供の充実を図ります。	—	—	A	外国人支援窓口(毎週月・金、第2、第4水曜日9時～12時)を設置し、日常生活に関する相談業務を実施しました。(相談件数:37件)	継続	企画課
95	日本語習得の支援	各種ボランティア団体等と連携・協力し、日本語を学べる場の提供に努めます。	—	—	A	富里国際交流協会が実施している日本語教室について、場所の確保や広報活動等の支援を行いました。	新規	企画課
96	外国人児童・生徒への支援	日本語が不自由な児童・生徒に対し、ボランティア団体などの市民活動団体の協力等を得て、学校教育現場における日本語指導の推進を図ります。	—	—	B	ボランティア団体の協力を得て、日本語指導が必要な児童・生徒への指導を行っておりますが、日本語指導を必要とする児童・生徒が多く、対応が困難であるため、支援方法について検討を重ねてまいります。	新規	学校教育課
97	外国人が利用しやすい図書館の充実	外国人が利用できる図書の充実と情報提供に努めます。	—	—	A	平成25年度末の洋書冊数は1269冊であり、平成25年度中に新たに8冊購入しました。今後も英語や韓国語など、幅広い言語の収集に努め外国人の利用促進に努めていきます。	新規	図書館